

小児科

多和 昭雄

小児科では、以下の疾患に重点的に取り組んでいる。

新生児医療：先天性脳神経疾患の新生児、血液疾患および内分泌・代謝疾患の母親から出生した新生児、健康新生児ならびに病的新生児、HIV 母子感染予防。

高度小児専門医療：骨系統疾患、発育・発達障害、血液、がん、消化器、内分泌、リウマチ疾患、アレルギー、神経、児童虐待、感染症（HIV 感染症を含む）。

成人化した小児難病治療：小児難病患者の内科専門外来への円滑なバトンタッチ。

臨床研究として、全国規模の group study である小児白血病研究会（JACLS）および inter-group である日本小児白血病リンパ腫研究グループ（JPLSG）の参加施設として白血病・悪性リンパ腫に関する治療研究を行っている。なかでも小児急性骨髄性白血病(AML)に関しては多和科長が研究代表者として小児 AML の標準的治療を確立するための全国統一の治療研究「小児急性骨髄性白血病（AML）に対する多施設共同後期第Ⅱ相臨床試験 AML-05」を主導している。また、日本ユーイング肉腫研究グループに参加しユーイング肉腫の治療研究を行っている。いずれの場合も治療に直結した実践的な医療、患者の QOL の改善に資するための研究を心がけている。また、尾崎医長が厚生労働省「HIV 感染妊婦のその出生時の調査・解析および診療・支援体制の整備に関する総合的研究」班の研究協力者として、多和科長が厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業「小児急性骨髄性白血病(AML)に対する標準的治療法の確立」（足立班）の研究分担者として参加している。

【2011 年度研究発表業績】

A-0

Shirahata A, Fukutake K, Mimaya J, Takamatsu J, Shima M, Hanabusa H, Takedani H, Takashima Y, Matsushita T, Tawa A, Higasa S, Takata N, Sakai M, Kawakami K, Ohashi Y, Saito H.: Clinical pharmacological study of a plasma-derived factor VIIa and factor X mixture (MC710) in haemophilia patients with inhibitors – Phase I trial. Haemophilia 2011;1-8

Imaizumi M, Tawa A, Hanada R, Tsuchida M, Tabuchi K, Kigasawa H, Kobayashi R, Morimoto A, Nakayama H, Hamamoto K, Kudo K, Yabe H, Horibe K, Tsuchiya S, Tsukimoto I.: [HYPERLINK "http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/20735397"](http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/20735397) Prospective study of a therapeutic regimen with all-trans retinoic acid and anthracyclines in combination of cytarabine in children with acute promyelocytic leukaemia: the Japanese childhood acute myeloid leukaemia cooperative study. Br J Haematol 2011;152(1):89-98.

Sano H, Shimada A, Taki T, Murata C, Park MJ, Sotomatsu M, Tabuchi K, Tawa A, Kobayashi R, Horibe K, Tsuchida M, Hanada R, Tsukimoto I, Hayashi Y.: [HYPERLINK "http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/22407852"](http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/22407852) RAS mutations are frequent in FAB type M4 and M5 of acute myeloid leukemia, and related to late relapse: a study of the Japanese Childhood AML Cooperative

Study Group. Int J Hematol 2012 Mar 10. [Epub ahead of print]

Shiba N, Taki T, Park MJ, Shimada A, Sotomatsu M, Adachi S, Tawa A, Horibe K, Tsuchida M, Hanada R, Tsukimoto I, Arakawa H, Hayashi Y: HYPERLINK "<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/21981547>" DNMT3A mutations are rare in childhood acute myeloid leukaemia, myelodysplastic syndromes and juvenile myelomonocytic leukaemia. Br J Haematol 2012;156(3):413-4

A-1

多和昭雄：小児の急性骨髄性白血病「血液専門医テキスト」日本血液学会、404-409、南江堂、東京、2011年10月

多和昭雄：CQ1 小児 AML の治療方針の決定に必要な分類と検査は何か「小児白血病・リンパ腫の診療ガイドライン 2011 年版」日本小児血液学会、46-49、金原出版株式会社、東京、2011年11月

多和昭雄：CQ2 小児 AML の標準的寛解導入治療は何か「小児白血病・リンパ腫の診療ガイドライン 2011 年版」日本小児血液学会、46-49、金原出版株式会社、東京、2011年11月

A-2

中山秀樹, 多和昭雄：再発・難治性 AML（急性骨髄性白血病）に対する治療の EBM は？「EBM 小児疾患の治療 2011-2012」五十嵐 隆、531-537、中外医学社、東京、2011年2月

A-4

楠木重範：悪性リンパ腫「がんナーシング」2(2)：P101-104、2012年3月

A-5

外川正生、葛西健郎、國方徹也、山中純子、細川真一、田中瑞恵、木内 英、齋藤昭彦、前田尚子、尾崎由和、市場博幸、天羽清子、武内茉莉亜、乾 未来、小林真之、榎本てる子、辻麻理子：HIV 感染女性から出生した子どもの実態調査と子どもの健康と発達支援。厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）「HIV 感染妊婦のその出生時の調査・解析および診療・支援体制の整備に関する総合的研究」平成 22 年度総括・研究分担報告書、P.69-93、2011年3月

多和昭雄：小児急性骨髄性白血病の標準的治療法の確立に関する研究。厚生労働科学研究費補助金（がん臨床研究事業）「小児がんに対する標準治療・診断確立のための研究」平成22年度総括・分担研究報告書、P.46-49、2011年5月

-3

多和昭雄：小児急性骨髄性白血病の治療成績と今後の治療戦略。第 114 回日本小児科学会、東京、2011年8月

B-4

川西三紀、楠木重範、多和昭雄：被虐待児に小児科病棟でできること。第 12 回子どもの療養環境研究発表会、愛知県大府市、2011 年 6 月

楠木重範、廣常秀人、上田純子、里見絵里子：小児患児・家族への介入～急性期総合病院緩和ケアチームの取り組み～。第 16 回日本緩和医療学会学術大会、札幌、2011 年 7 月

高橋浩之、富澤大輔、盛岳 浩、照井君典、井上彰子、日野もえ子、金井理恵、豊田秀実、松野良介、塩原正明、多賀 崇、多和昭雄、足立壮一：小児急性前骨髄球性白血病に対する三酸化ヒ素による治療の実態調査。第 53 回日本小児血液学会総会、前橋、2011 年 11 月

嶋田 明、富澤大輔、木下明俊、浜本和子、月本一郎、小川 淳、多賀 崇、今村俊彦、多和昭雄、堀部敬三、滝 智彦、林 泰秀、足立壮一：乳児 AML の後方視的解析。第 53 回日本小児血液学会総会、前橋、2011 年 11 月

多和昭雄、齋藤明子、木下明俊、工藤寿子、高橋浩之、多賀 崇、富澤大輔、中山秀樹、盛岳 浩、岩本彰太郎、嶋田 明、照井君典、康 勝好、気賀沢寿人、小阪嘉之、堀部敬三、足立壮一：JPLSG AML-05 臨床研究において発生した有害事象の検討。第 53 回日本小児血液学会総会、前橋、2011 年 11 月

多賀 崇、齋藤明子、工藤寿子、富澤大輔、照井君典、盛岳 浩、木下明俊、岩本彰太郎、中山秀樹、高橋浩之、多和昭雄、嶋田 明、気賀沢寿人、康 勝好、滝 智彦、足立壮一：ダウン症候群に発症した急性骨髄性白血病(AML-DS)の寛解導入不能・再発例の多施設共同後方視的研究。第 53 回日本小児血液学会総会、前橋、2011 年 11 月

柴 徳生、朴 明子、村田知里、嶋田 明、滝 智彦、外松 学、田淵 健、足立壮一、多和昭雄、堀部敬三、土田昌宏、花田良二、月本一郎、荒川浩一、林 泰秀：小児急性白血病における DNMT3A 遺伝子変異の解析。第 53 回日本小児血液学会総会、前橋、2011 年 11 月

木下明俊、宮地勇人、滝 智彦、松下弘道、矢部はるみ、清河信敬、照井君典、太田秀明、出口隆生、高橋浩之、多賀 崇、林 泰秀、多和昭雄、足立壮一：JPLSG AML-05 臨床試験における WHO 分類に基づいた小児急性骨髄性白血病の中央診断。第 53 回日本小児血液学会総会、前橋、2011 年 11 月

柴 徳生、朴 明子、村田知里、嶋田 明、滝 智彦、外松 学、田淵 健、足立壮一、多和昭雄、堀部敬三、土田昌宏、花田良二、月本一郎、荒川浩一、林 泰秀：小児急性白血病における NUP98-NSD の解析。第 53 回日本小児血液学会総会、前橋、2011 年 11 月

堀部敬三、山田美穂、山下友加、横澤敏也、嶋田 明、多和昭雄、高橋浩之、多賀 崇、木下明俊、足立壮一：小児急性骨髄性白血病におけるキメラ遺伝子スクリーニング診断に関する検討。第 53

回日本小児血液学会総会、前橋、2011年11月

今村俊彦、岩村彰太郎、金井理恵、嶋田 明、照井君典、大杉夕子、小林良二、多和昭雄、小阪嘉之、加藤剛二、堀 浩樹、堀部敬三、小田 慈、足立壮一：AML99登録終了後のJACLS登録AML症例の治療成績の検討。第53回日本小児血液学会総会、前橋、2011年11月

外川正生、葛西健郎、國方徹也、細川真一、田中瑞恵、木内 英、齋藤昭彦、前田尚子、尾崎由和、天羽清子、市場博幸、榎本てる子、辻麻理子、武内茉莉亜、乾 未来、小林真之、吉野直人、喜多恒和、稲葉憲之、和田裕一：HIV感染女性から出生した子どもの実態調査と子どもの健康と発達支援。第25回日本エイズ学会学術集会、東京、2011年12月

谷口晴記、塚原優己、大金美和、山田里佳、井上孝実、辻麻理子、渡邊英恵、源河いくみ、佐野貴子、内山正子、大島教子、尾崎由和、蓮尾泰之、吉野直人、早川 智、外川正生、喜多恒和、戸谷良造、稲葉憲之、和田裕一：HIV母子感染予防対策マニュアル 第6版の改訂ポイントと課題について。第25回日本エイズ学会学術集会、東京、2011年12月

B-5

楠木重範：橋神経膠腫の2例から経験した社会的支援、療養環境の問題点について。第6回大阪小児緩和ケア研究会、大阪、2011年9月

寺田志津子、楠木重範、尾崎由和、多和昭雄：ロタウイルス腸炎後に急性小脳失調症状をきたした症例。第25回近畿小児科学会、京都、2012年3月